

\*\*\*\*  
**男女共同参画標語**  
**最優秀賞**  
**「男女とも 歩みあわせて**  
**輝くとりで」**  
 宮下拓也さん 藤代南中学校(当時)  
 \*\*\*\*

32号  
 平成24年11月1日発行

# 風

\*\*\*\*  
 優秀賞  
 学生部  
 「同じだね 働く力と 支える心」  
 「認め愛 支え愛 補い愛」  
 「男女の手 大きさ違えど 価値は同じ」  
 一般部  
 「女の手男の手 合せた未来 取手から」  
 「役割を 担う意欲と 任せるゆとり」  
 \*\*\*\*

**第16回 女と男ともに輝くとりでの集い**  
**みんなで輝くとりでの未来**  
 11/25(日)

12:30 ~ 開場  
 12:45 ~ 開会行事  
 13:00 ~ 講演会  
 国立女性教育会館：中野洋恵さん  
 14:00 ~ こども  
 パネルディスカッション  
 14:30 ~ おとな  
 パネルディスカッション  
 15:20 ~ 吹奏楽演奏  
 茨城県立取手松陽高等学校  
 15:50 ~ クイズ大会  
 16:00 ~ 閉会

\*会場 取手市福祉交流センター\*

秋といえば、文化・芸術、スポーツ健康などの分野で様々な催しが行われますが、忘れてならないのが11月の「男女共同参画月間」。その目玉イベントとして、今年も「女と男ともに輝くとりでの集い」が11月25日に開催されます。今年のテーマは、『みんなで輝くとりでの未来』。身の回りのこと、日々の生活、自分の生き方と社会のあり方を見つめ直し、参加者全員で未来を考える良い機会になるでしょう。今年どのような「集い」になるのか。その中身を紹介します。

**「みんなが輝ける社会」**  
**こどもも輝ける社会」**  
 少子化、高齢化が進み、生活スタイルや働き方が変化し続けている今、私たちは社会や生活に様々な不安と問題を抱えています。それらの問題とどう取り組むのか。その答えの一つが、性別年齢を超えて力を合わせ、社会を支えていくしくみ「男女共同参画社会」です。

第16回のとりでの集いでは、独立行政法人国立女性教育会館の中野洋恵氏をお迎えし、男女共同参画を取り巻く日本の状況や国の取り組みについてお話をさせていただきます。現在の取り組みをどんな未来につなげるのか、共に考えていきましょう。

**第16回 女と男ともに輝くとりでの集い**  
**みんなで輝くとりでの未来**

昨年、「とりでの集い」初の試みとして企画された「こどもも輝くとりでの集い」。好評につき、今年も行われる事になりました。前回は、壇上に登る前に緊張で不安げな様子を見せていたものの、夢や将来について自分の言葉で語る姿が印象的だったことも達。大人が想像もつかない意外な発想や無邪気な発言に会場が沸く場面もありました。ただ単にほほえましいだけではなく、こども達たちが自由に夢と将来を思い描くことのできる環境を私たち大人が作らなければいけないという思いを強くした場でもありました。

「こどもも輝くとりでの集い」初の試みとして企画された「こどもも輝くとりでの集い」。好評につき、今年も行われる事になりました。前回は、壇上に登る前に緊張で不安げな様子を見せていたものの、夢や将来について自分の言葉で語る姿が印象的だったことも達。大人が想像もつかない意外な発想や無邪気な発言に会場が沸く場面もありました。ただ単にほほえましいだけではなく、こども達たちが自由に夢と将来を思い描くことのできる環境を私たち大人が作らなければいけないという思いを強くした場でもありました。

「こどもも輝くとりでの集い」は、11月25日(日)福祉交流センター(取手市庁舎敷地内)で開催されます。ぜひご来場いただき、演奏やアトラクションも楽しみながら、みんなで輝くとりでの未来と今に考えてみませんか。

**アトラクション**  
 講演会、パネルディスカッションの後には、吹奏楽をお楽しみいただける学校や吹奏楽のコーナーなど、楽しみながら参加できるアトラクションを準備しています。

「こどもも輝くとりでの集い」は、11月25日(日)福祉交流センター(取手市庁舎敷地内)で開催されます。ぜひご来場いただき、演奏やアトラクションも楽しみながら、みんなで輝くとりでの未来と今に考えてみませんか。

**アトラクション**  
 講演会、パネルディスカッションの後には、吹奏楽をお楽しみいただける学校や吹奏楽のコーナーなど、楽しみながら参加できるアトラクションを準備しています。

「こどもも輝くとりでの集い」は、11月25日(日)福祉交流センター(取手市庁舎敷地内)で開催されます。ぜひご来場いただき、演奏やアトラクションも楽しみながら、みんなで輝くとりでの未来と今に考えてみませんか。

**アトラクション**  
 講演会、パネルディスカッションの後には、吹奏楽をお楽しみいただける学校や吹奏楽のコーナーなど、楽しみながら参加できるアトラクションを準備しています。



**世界を学び、仲間と絆で結ばれる**  
 ハーモニーフライトいばらき

本年度で30回目を迎える「ハーモニーフライトいばらき」とは、茨城県における男女共同参画社会の実現のため、国際的視野・指導力を持って意欲的に地域活動を担う女性リーダーの育成を目指すもので、研修員は公募で選出され、国内での調査研修を経て、海外先進地の視察などを行っています。今回は、昨年度この事業に参加された大久保礼子さんのお話を通して、事業を紹介いたします。

**応募のきっかけ**  
 20年に渡る地域でのボランティア活動を通し、以前から関心がありました。3人の子どもの子育てに区切りがついて、時間と心に余裕ができたところに、取手市地域女性団体連盟の推薦を頂きまして、応募を決意しました。

**国内での研修について**  
 同期生になる14名の研修員は、教育・福祉・街づくりの3班に分かれ、私は教育班担当でした。県内各地域から参加された初対面の方々とも、数回に及ぶ1泊2日の研修で共に学び、うちつけた間柄になりました。また市内の保育園を訪問し、取り組みの現状や、園内の設備等を調査する自己学習も行いました。

**海外調査研修について**  
 23年9月25日〜10月2日の8日間の日程で、北欧のデンマーク、ノルウェーを訪ねました。デンマークの首都コペンハーゲンでは、女性の歴史と生活、権利向上に取り組む独立研究機関「クヴィンフォ」、家族等の暴力に苦しむ女性をサポートする「DV被害者支援センター」を視察しました。これらの機関や男女平等政策が充実しているデンマークは、女性の就業率が高い国になっていきます。また教育面では、「落ちこぼれ」や「ニート」といった概念は存在せず、子どもの意思を尊重したデイベート式教育に、とても関心を持ちました。

次に訪問したノルウェーのバルム市の幼稚園では、男女平等を教える教育カリキュラムや、厳しい気候に耐えることのできる心身育成のための屋外活動などに興味を持ちました。また、同市内の高齢者施設で

**応募のきっかけ**  
 20年に渡る地域でのボランティア活動を通し、以前から関心がありました。3人の子どもの子育てに区切りがついて、時間と心に余裕ができたところに、取手市地域女性団体連盟の推薦を頂きまして、応募を決意しました。

**国内での研修について**  
 同期生になる14名の研修員は、教育・福祉・街づくりの3班に分かれ、私は教育班担当でした。県内各地域から参加された初対面の方々とも、数回に及ぶ1泊2日の研修で共に学び、うちつけた間柄になりました。また市内の保育園を訪問し、取り組みの現状や、園内の設備等を調査する自己学習も行いました。

**海外調査研修について**  
 23年9月25日〜10月2日の8日間の日程で、北欧のデンマーク、ノルウェーを訪ねました。デンマークの首都コペンハーゲンでは、女性の歴史と生活、権利向上に取り組む独立研究機関「クヴィンフォ」、家族等の暴力に苦しむ女性をサポートする「DV被害者支援センター」を視察しました。これらの機関や男女平等政策が充実しているデンマークは、女性の就業率が高い国になっていきます。また教育面では、「落ちこぼれ」や「ニート」といった概念は存在せず、子どもの意思を尊重したデイベート式教育に、とても関心を持ちました。

次に訪問したノルウェーのバルム市の幼稚園では、男女平等を教える教育カリキュラムや、厳しい気候に耐えることのできる心身育成のための屋外活動などに興味を持ちました。また、同市内の高齢者施設で

は、スポーツジムやプールなど、日本ではあまり見られない設備もあり、利用者が意思を尊重され、趣味を楽しみながら生き生きと生活していました。

また、各訪問先で対応してくださった女性が、皆さん「凛」とした姿で仕事をされていたのが印象的でした。ノルウェーは、世界で初めての「男女平等法」制定や、公的な分野で男女どちらかが最低40%を占めることにする「クォータ制」導入など、男女平等政策を基盤とした社会整備がされているのです。

**研修を終えた感想**  
 視察後の報告書をまとめ上げる作業は大変でしたが、そのなかで研修員の皆さんとは固い絆で結ばれました。福祉や男女平等の先進国を訪問して、時代背景や社会基盤の違いはあるものの、日本が学ぶべきことは多々あると思いました。

観光旅行では決して得られない貴重な知識や思い出を得ることができました。この貴重な経験は、私が参加している様々な地域活動などの身近な場所で生かしていきたいと考えています。今後も多くの女性が高い意識を持ってフライトに参加し、地域活動のリーダーとして羽ばたくことを願っています。

\*\*\*\*

市内には、大久保さんの他にも数多くのフライト卒業生がいて、フライト経験を活かして様々な分野で活躍されています。また、卒業生で「取手つばさの会」を組織し、活発な交流や情報交換を行っています。

志高き女性の皆さん、ぜひ来年度のフライト生募集にご応募ください！

(沼田)

企業訪問

男女共同参画社会を職場から

技術を磨いて効率アップ!

キャノン株式会社 S級マイスター

取手市白山には、キャノン株式会社の大きな事業所があり、その中ではとても多くの従業員の方が働いています。今回は、複合機『(コピー・プリンタ・スキャナ・FAXなど複数の機能を使える機器)』を製造する現場の第一線で、高い技能を活かして活躍している3人の女性を取材しました。



キャノンの女性S級マイスターの皆さん (左から、恩田さん、松崎さん、大曾根さん)

今回お話を伺った恩田さん、松崎さん、大曾根さんの3人は、取手事業所で大型複合機の生産に携わっています。皆さん「S級マイスター」という社内資格を持ち、取手事業所のみならず、全社的な活躍をされています。「マイスター」というのは、生産

高齢化社会をどう生きる

シリーズ No.20

地域の心配ごとを解決するため、がんばる「民生委員・児童委員」

高齢化が進む一方、地域や人のつながりが弱くなっている昨今。「民生委員・児童委員」の存在がクロスアップされています。取手市には185人の民生委員・児童委員がいて、そのうち112人は女性。実に6割は女性が占め、各地域で大活躍しています。今回は、その中でも長年にわたって民生委員を続けてきたお二人に活動の現状や思いについてお話を伺いました。

「日ごろの活動内容を教えてください」

高齢者宅への見守り訪問が中心です。私たちの地区には定期的な訪問をする高齢者世帯がいくつもあります。そういったお宅を回り、体調はどうか、困りごとはないかなど安否確認します。ボランティア給食サービスの昼食会などに高齢者をお誘いするお手伝いなどをしたり、公民館まつりなどで地域の人々に民生委員のPR活動もしています。また健全育成委員会への参加に

「苦勞も多いと思いますが」

アパートやマンションは新しく入居した人や転居した人の情報が入りづらいことや安否確認が難しいということがあります。また最近では民生委員の訪問を拒む方もおられます。でも訪問を重ねるうちに心を開いていただけて、世間話にも応じていただけるようになったときはそれま

に携わる従業員のうち、卓越した技能を持っている人を会社が「匠」として認定するもので、S級ともなると一人で大型複合機を一から完成させる事ができる方々です。取手事業所には複合機の製造に従事する従業員が数百人いますが、そのなかでもS級のマイスターはたった11名、そのうち女性性は9名だそうです。

マイスターへの挑戦

キャノン初の女性マイスターである恩田さんを始め、皆さんはそれぞれ以前から生産に携わっていて、自分の技能をさらに活かすため、マイスターを目指されたそうです。S級マイスターになるには、機種によっては作業時間5時間以上にも及ぶ組立方法をすべて理解・記憶しなけ

「普段どのような事を心掛けておられますか」

気軽に世間話などして信頼を得るようにしています。相手の立場や状況にあわせた話題で聞き上手になることですね。経験を重ねるにつれ相手の気持ちやうになりまし。また担当エリアを歩いてカーテンが閉め切りになっていないか郵便受けが溜まっていないかなど家の状況にも注意するようにしています。

「高齢者世帯が増え、仕事の幅も増えていると聞きますが」

比較的若い家人が同居している家庭でも支援が必要なケースもあり一律に年齢だけでは判断できない場合があります。ふだん元気な方でも突然具合が悪くなることもあり、夜、救急車の

ればなりません。正確かつ迅速に組みつけていく技術の習得は、とても大変だったそうです。

でも、そこで学んだ知識や技能、集中力などは今も役立っています。今でも、他のマイスターの技術やノウハウを吸収したり、自分の不得意な分野をどう克服していくかなど、日々努力を続けているそうです。

やりがいのある仕事

マイスターになると、自分の技能を継承する後輩を2人育てなければならぬそうです。それ以外にも、自分が培ったノウハウを製品開発や営業・販売に活かしたり、海外を含めた他の生産現場に技術を教えに行ったりなど、幅広い活躍を求められ、やりがいに繋がっています。

今後の仕事や家族との関わり

「今後携わっていききたい仕事は何ですか」とお聞きすると、開発に携わったり、後進の育成にあたりたり、さらに色々な技術を習得したり、といったそれぞれのお答えが返ってきました。

◆◆◆

◆◆◆

◆◆◆

「民生委員を続けてこれたの思いを聞かせてください」

大変だなと感じたこともありますが多くの方々に支えられて続けてこれました。苦勞も多いですが人々と触れ合うことにやりがいと達成感があります。成り手不足から民生委員の高齢化も進んでいます。地域の高

上司の方々も、マイスターの皆さんに職場全体の活性化や、会得した技術ノウハウを活かした活躍を期待しているそうです。

ご家族も、奥さんやお母さんが職場で「マイスター」として大活躍していることに「すごい!」という感想を持ってくださいます。特に、大曾根さんのお父さんは、ご自分もキャノンに勤めていたこともあり、とても喜んでくれたそうです。

日常生活の中でも、仕事の中で培った「どうやってムダを減らすか」という考え方を活かして、いかに効率化するかを考えて家事をしているそうです。そういった部分でも、ご家族は期待しているのではないのでしょうか。今後も、マイスターの皆さんの活躍を期待しています。(平塚)

◆◆◆

◆◆◆

◆◆◆



いつも笑顔のお二人 (左が須賀さん、右が大友さん)

◆◆相談窓口のご案内◆◆

- 取手市男女共同参画相談
 

市が実施する事業や施策について男女共同参画に悪影響を及ぼすようなことがあった場合、男女共同参画苦情処理員がご相談を受け付けます。

問い合わせ 取手市秘書課 内線 1111
- DV(ドメスティック・バイオレンス)相談
 

配偶者や恋人等からの暴力で悩んでいる方の相談を家庭相談員が受け付けています。

問い合わせ 取手市子育て支援課 内線 1347

取手警察署生活安全課(24時間対応) 77-0110

編集後記

この情報誌は、男女共同参画にむけた基礎作りの一環として、市民活動団体が主となり創刊(平成7年)。誌名は「風」と命名し、東京藝術大学院生(当時)がデザイン。地域社会のなかに男女共生のしなやかな風を入れる情報誌となることをめざしています。

編集協力員として初参加

「男女共同参画って何?」今までずっと会社人間であった者には新鮮な体験。生まれて初めての取材と記事の編集。民生委員さんの深いお話に地域のことは妻に任せっきり的身として反省。男性の場合定年後、地域の交流になじみず社会から孤立し引きこもる傾向があるというお話に地域人1年生の決意新た!(宮原)

発行日 平成24年11月1日

編集発行 取手市 秘書課

編集協力員 平塚恒夫/下園淳子

沼田久美/宮原登

〒302-8585 取手市寺田5139

TEL 0297-741214

FAX 0297-731599

H・P http://www.city.tatebayashi.jp/

Eメール hisho@city.tatebayashi.jp/

表紙絵 有本唯